

■ 支 部 だ よ り ■

東海・近畿・北陸支部のうごき

—第10回支部研究会を終えて—

平成8年1月25日(木)、26日(金)の両日、見違えるばかりに復旧した公立学校共済組合「六甲荘」で会員延べ約150名の参加を得て、第10回支部研究会を無事終えました。第1日目の夜の懇親会にも70名近くが参加し、盛んに意見交歓が行われました。平成7年9月7日(木)、8日(金)に支部の総会および表彰式を同じくこの六甲荘で主催したばかりでした。本来、この研究会は平成7年1月25～26日に予定しており、すでに会議の要旨集も郵送直前でありましたが、1月17日の震災のため開催不能となったため、皆様のご了解を得て一年くり延べたもので、同じ主催者が短い期間の間に総会と研究会をつづけて開催するという不自然さは私どもも気になっておりましたが、以上のような経過をご了承願いたいと思います。

数年前、支部では総会と研究会の役割について区別をして総会は主として管理運営に関する事項、研究会は技術的な問題点に関する情報交換を主体とすることとし、また前者は全国総会とのかかわり、後者は環境保全研究発表会とのかかわりも含めて運営することとしましたが、提案した当事者がこの両会議を主催したことで両者の役割を比較的に明確にし得たと思っております。

演題も昨年は口演の機会を取りあげたことになるので、今回の演題募集に当たっては原則として、昨年のもをそのまま発表していただくことで諾否をとり、新しい課題としては特別講演を含めて3題が口演された。研究発表に1年前の内容のものを若干の手直しはあるものの口演していただくというのは不埒な話であるがこれもご了承いただきたいと思います。

演題は第1日目は大気環境、水環境問題で11題、第2日目は酸性雨および共同調査、水質基準および環境情報・環境教育など13題合計24題で、いずれも地域の特性として問題点を指摘しながらも広く共有の話題としても興味のあるものが多かったし、とくに酸性雨の共同調査報告は5年間のまとめの公表であり、環境情報で大阪府から提供された環境情報システム利用者ニーズに関する調査は参考資料として興味がありました。特別講演の中村琵琶湖研究所長の「霞ヶ浦宣言の

意味と意義」については、世界の湖沼をかかえる問題から琵琶湖保全新制度に話をすすめ、環境保全を前提とした農業対策など水環境問題を大局からみるという点で多くを教えられました。昨年の中村所長は大湖水の琵琶湖について、水位の低下が水環境や生態系へどう影響したかをお話いただく予定でありましたが、これはまた別の機会にぜひ拝聴したいものであります。

口演は座長の活発な動きもあって時間をにらみながらまずまずの討議もできましたが、予定の時間をやや超過したことは今後の課題にしなければなりません。とくに留意したいのはOHPの使用とマイクの扱いで、少し奥行の長い会場ではOHPは一部の周辺の人以外には不明瞭で、どうしてもOHPを使用するならば図表の細かいものは抄録に掲載し大筋のものだけに限定するような懇切さが必要で、そうでないならやはりスライドを使用すべきであり、またマイクはほとんどの役目を果たしていないのは、聴衆によく声を通すというエチケットに欠けるものでいずれも留意すべきことを痛感しました。

次回は、富山県環境科学センターのお世話で魚のおいしい富山で開催される予定です。何か問題点を抽出してラウンドテーブルディスカッションもどうかと思いますし、そのための話題は一杯あるように思いますがいかがでしょうか。

時々何か刺激を与えることでまた、研究会も活々としつづけられるし、また、そうであらねばならないと思っております。

当日のプログラムを参考までに掲載しますので、ご意見があればぜひお教示下さい。

兵庫県立公害研究所長 小林 稔

第10回全国公害研協議会東海・近畿・北陸支部「支部研究会」プログラム

第1日目 平成8年1月25日(木)

場 所 六甲荘(公立学校共済組合)

[開会挨拶] 13:00~13:20

挨拶 全国公害研協議会東海・近畿・北陸支部長 三宅 貞和 (司会) 兵庫県立公害研究所
(名古屋市環境科学研究所長) 総務部長 松田 昭男

挨拶 兵庫県保健環境部環境局長 中尾 清二

挨拶 兵庫県立公害研究所長 小林 稔

[特別講演] 13:20~14:20

湖沼保全行政の今日の課題(世界湖沼会議'95—霞ヶ浦宣言の意味と意義) 2
滋賀県琵琶湖研究所 所長 中村 正久 (座長) 兵庫県立公害研究所
所長 小林 稔

——休憩—— 14:20~14:30

[研究発表:水環境問題] 14:30~15:45

(座長) 滋賀県立衛生環境センター 主任専門員 野村 潔

- 1 渇水に伴う琵琶湖水質の変動 6
滋賀県立衛生環境センター 山中 直
- 2 紫外線照射によるテトラクロロエチレン等の光分解処理について 8
富山県環境科学センター 藤平蔵芳光
- 3 岐阜県内貧・中栄養湖の水質と藻類相の概要 10
岐阜県保健環境研究所 村瀬 秀也
(座長) 名古屋市環境科学研究所 水質部長 伊藤 英一
- 4 地下水におけるトリクロロエチレン等およびそれらの分解生成物検出状況 12
兵庫県立公害研究所 吉岡 昌徳
- 5 地下水のPCE等からの分解生成物について 14
名古屋市環境科学研究所 渡辺 正敏

——休憩—— 15:45~15:55

[研究発表:大気環境問題] 15:55~17:15

(座長) 大阪市立環境科学研究所 研究副主幹 瓦家 敏男

- 6 神戸に成育する植物中の無機元素の濃度分布とその特性 18
神戸市環境保健研究所 植木 啓次
- 7 大阪府におけるオキシダント濃度予測について 20
大阪府公害監視センター 阪本 一・荻野貴世子
- 8 SO₂測定用分子拡散サンブラーの低温特性 22
三重県環境科学センター 永楽 通宝
(座長) 神戸市環境保健研究所 公害検査部長 今井佐金吾
- 9 平成6年度支部金属腐食調査について 24
奈良県衛生研究所 松本 光弘
- 10 京都府におけるSPMの挙動について 26
京都府保健環境研究所 堀口 貞明
- 11 大気粉じん調査について——ディーゼル排気ガス—— 28
石川県保健環境センター 松田 晴夫

——懇親会—— 18:00～20:00

挨拶 全国公害研協議会東海・近畿・北陸支部長・三宅 貞和 (司会) 兵庫県立公害研究所
(名古屋市環境科学研究所) 参事 奥野 年秀
兵庫県保健環境部環境局長 中尾 清二
乾杯 全公害協副会長 斎藤 昌良 (大阪府公害監視センター所長)

第2日目 平成8年1月26日(金)

場 所 六甲荘(公立学校共済組合)

[研究発表:酸性雨問題—共同調査—] 9:00～10:00

(座長) 大阪府公害監視センター 調査室主任研究員 田口 圭介

- 12 雨水中の不溶性成分の分析法の問題点32
兵庫県立公害研究所 正賀 充
- 13 石材を用いた酸性雨等の影響評価法の検討34
岐阜県保健環境研究所 梶川 正勝
(座長) 兵庫県立公害研究所 第1研究部次長 玉置 元則
- 14 平成6年度支部共同調査研究(酸性雨)について36
福井県環境科学センター 前川 勉
- 15 酸性雨・支部共同調査の5年間のまとめ38
滋賀県立衛生環境センター 大野 達雄

[討論:水質基準改正問題] 10:05～11:05

(座長) 京都府保健環境研究所 水質課長 筒井 剛毅

- 16 水質基準改正における諸問題(規制の強化への対応と今後の取り組みについて)42
愛知県環境調査センター 河邊 保夫
- 17 水質基準改正の諸問題43
奈良県衛生研究所 斎藤 和夫
- 18 分析法の迅速化手法の検討44
福井県環境科学センター 高田 敏夫
- 19 機器分析における問題点46
兵庫県立公害研究所 岡田 圭司

[研究発表:環境情報・環境教育] 11:10～12:25

(座長) 福井県環境科学センター 主任研究員 白崎 健一

- 20 環境問題のグローバルネット(Eco-Net)48
大阪市立環境科学研究所 土永 恒彌
- 21 自治体環境情報システムに関する一提案50
大阪府公害監視センター 山本 勝彦
(座長) 三重県環境科学センター 主任研究員 早川 修二
- 22 パソコン通信による大気汚染監視業務の支援52
福井県環境科学センター 山田 克則
- 23 環境情報交換のためのパソコン通信ネットワークの利用54
兵庫県立公害研究所 中野 武
- 24 環境教育について——「健康と環境」——の出前教室56
和歌山県衛生公害研究センター 森 喜博

[閉会挨拶] 12:25～12:40

挨拶 兵庫県立公害研究所参事 奥野 年秀 (司会) 兵庫県立公害研究所
挨拶 富山県環境科学センター 総務部長 松田 昭男
(次期開催県)